検出幅の定義

検出幅(防護高さ)の定義

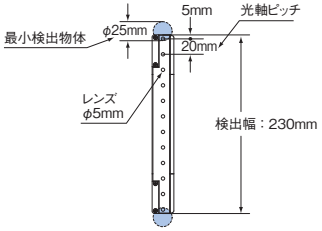
・検出幅(防護高さ)とは、最小検出物体を安定して検出できる領域幅のことです。機種により検出幅(防護高さ)の定義が異なりますので、ご注意ください。

20mmピッチの場合

■SF4B(注1)／SF4B-C／SF2B／SF4C／SF2Cシリーズ

・検出幅はライトカーテン本体長さと同じになります。

(例) **SF4B-H12〈V2〉**

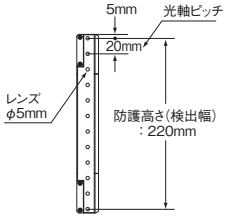


(注1)：**SF4B-□-01〈V2〉／SF4B-H□G-01〈V2〉**は、中国プレス機械用安全装置および国内プレス機械・シャー(紙断裁機)以外で使用する場合です。

■SF4B-□-01〈V2〉／SF4B-H□G-01〈V2〉を中国プレス機械用安全装置または国内プレス機械・シャー(紙断裁機)として使用時

・防護高さ(検出幅)はライトカーテンの最上端光軸中心から最下端光軸中心までになります。

(例) **SF4B-H12-01〈V2〉**

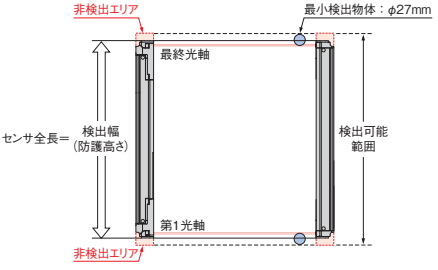
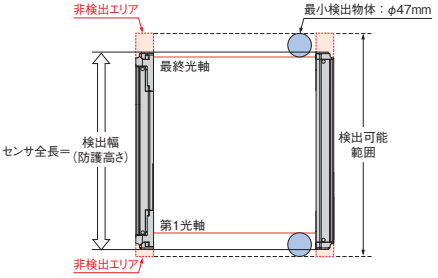


※**SF4B-□-01〈V2〉／SF4B-H□G-01〈V2〉**を日本国内にてプレス機械・シャー(紙断裁機)安全装置として使用する場合、「プレス機械又はシャーの安全装置構造規格」の規定により防護高さ(検出幅)が国際安全規格と異なります。

・ライトカーテンの"検出幅(防護高さ)"は、「最小検出物体(テストロッド)を安定して検出することが可能な範囲」を示しています。但し、検出可能範囲がライトカーテンの本体寸法(センサ全長)を超える場合、ライトカーテン本体の上下に防護できない『非検出エリア』ができます。従って、検出幅を本体寸法内に限定して規格認証を取得しています。

〈例：SF2Bシリーズ〉

20mmピッチの場合



40mmピッチの場合